



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は勤勉について何と言っているか?—ザ・ファウンデーション・ストロング番号付きKJV聖句

THE FOUNDATION • THE ORIGINAL STUDY, SET IN THE ANCIENT ORDER

勤勉 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

これは基礎的な研究であり、使徒が始めたところから始まる。すなわち、このことに加えて、あらゆる勤勉を尽くせ、ということである。勤勉とは、速さであり、真剣な配慮であり、熱意である。聖書は勤勉な者と怠惰な者とを並べて示し、私たちがその生き方を見て知恵を得るようにしている。勤勉な者の手は支配を得るが、怠惰な者は貢物を課せられる。しかし、これに注目せよ。勤勉な者の思いは豊かさへと向かう。勤勉は手だけにあるのではなく、心にもある。あなたの信仰に徳を加えるために、あらゆる勤勉を尽くせ。そして、その働きは内なるものへと向かう。心は新たにされ、すべての思いはキリストの従順へと捕らえられ、ついには私たちがキリストの心を持ち、完全な平安に保たれるようになる。神は、ご自身を熱心に求める者たちに報いを与える方である。これを探り究めよ。

本研究が答える三つの問い:

1. 勤勉とは何か。また聖書はどのように勤勉な者を怠惰な者と対比させているか。
2. 勤勉な人は何をしているのが見出され、終わりまで何を求めているか。
3. 勤勉は信仰に何を加え、私たちがキリストの心を持つまで、心はどのように新たにされるのか。

ギリシャ語キーワード

“勤勉” — **G4710 spoude** — 急ぐこと、真剣な配慮、勤勉

アンカーワード——力を尽くしてすべての勤めをなせ(ペテロ後書1:5)、力を尽くして自らの召しと選びを確かなものとせよ(ペテロ後書1:10)

“怠惰な” — **G3576 nothros** — 鈍い、のろい

勤勉な者が決してそうであってはならないもの——怠らず、約束を受け継ぐ者たちに倣う者であれ(ヘブル人への書 6:12)

“徳” — **G703 arete** — 徳、称賛、卓越

信仰に勤勉を加えるとはどういうことか(ペテロ前書…ではなくペテロ後書1:5);同じ語がペテロ前書2:9では「誉れ」と訳されている

“**栄光**” — **G1391 doxa** — 名誉、賛美、栄光

彼は栄光と徳とをもってわたしたちを召してくださった(ペテロ後書1:3)

“**熱心に求める**” — **G1567 ekzeteo** — 探し求める、追い求める

彼は彼を求める者に報いてくださる方であるからです(ヘブル人への手紙11:6)

“**熱心な**” — **G2204 zeo** — 沸くこと、沸騰すること

霊に燃え、主のことを熱心に教えた(使徒行伝18:25)

“**刷新**” — **G342 anakainosis** — 更新すること、新しくすること

心の一新によりて自ら變化れ(ローマ人への書 12:2)

“**心**” — **G3563 nous** — 知性、理解力

私たちはキリストの心を持っている(1コリント2:16)

“**健全な思考**” — **G4995 sophronismos** — 健全な思い

おそれの霊にあらず、能力と愛と謹慎との霊なり(テモテ後書1:7)

ヘブライ語キーワード

“**勤勉な**” — **H2742 charuts** — 鋭い;打穀の器具;精金;決断

勤しむ者の手は人を治める(箴言12:24)。勤しむ人の資産は尊い(箴言12:27)

“**怠惰な**” — **H6102 atsel** — 怠惰な、遅い

怠惰な者の道は茨の垂れ籠むる道のごとし(箴言15:19)。同じ言葉が「なまくら者」—なまくら者よ、蟻のところへ行け(箴言6:6)

“**怠惰**” — **H6103 atslah** — 怠惰、無為

多くの怠惰によって家は傾く(伝道の書 10:18)

“**熱心に求める**” — **H7836 shachar** — 勤勉に、早くから求めること

善を熱心に求める者は恩恵を得る(箴言11:27)

“**心**” — **H3336 yetser** — 想像、構想

あなたに抛り頼む心をば(イザヤ書26:3)

“**留まった**” — **H5564 samak** — 寄りかかる、もたれる、支える

心の定まった者を、汝は全き平安のうちに守り給う、彼はあなたに抛り頼めばなり(イザヤ書26:3)

(私の個人的な考え—charuts(H2742, diligent)は勤勉を意味する。また、鋭い脱穀の道具、精金、そして決断—決断の谷、ヨエル3:14をも意味する。勤勉な人の実質は貴重である。この言葉自体が金なのである。)

I. すべての力を尽くして — アンカー

A. ペテロの第二の手紙 1:5 それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、

原語キー / **STRONG' S:** ■ G4710 spoude • ■ G703 arete

あらゆる勤めをなして、あなたの信仰に徳を加えなさい。

II. 勤勉な者と怠惰な者

A. 箴言 12:24 勤め働く者の手はついに人を治める、怠る者は人に仕えるようになる。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2742 charuts

勤め働く者の手はついに人を治める、怠る者は人に仕えるようになる。

B. 箴言 15:19 なまけ者の道には、いばらがはえしげり、正しい者の道は平らかである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H6102 atsel

なまけ者の道には=いばらがはえしげり、正しい者の道は平らかである。

C. 箴言 18:9 その仕事を怠る者は、滅ぼす者の兄弟である。

仕事において怠る者は、大いなる浪費者の兄弟である。

D. 箴言 19:24 なまけ者は、手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをしない。

なまけ者は手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをしない。

E. 箴言 21:25 なまけ者の欲望は自分の身を殺す、これはその手を働かせないからである。(26) 悪しき者はひねもす人の物をむさぼる、正しい者は与えて惜しまない。

これはその手を働かせないからである → なまけ者の欲望は自分の身を殺す。

F. 箴言 24:30 わたしはなまけ者の畑のそばと、知恵のない人のぶどう畑のそばを通過してみたが、(31) いばらが一面に生え、あざみがその地面をおおい、その石がきはくずれていた。(32) わたしはこれをみて心をとどめ、これを見て教訓を得た。(33) 「しばらく眠り、しばらくまどろみ、手をこまぬいて、またしばらく休む」。(34) それゆえ、貧しさは盗びとのように、あなたに来、乏しさは、つわもののように、あなたに来る。

怠け者の畑 → いばらが生い茂り、石垣は崩れている → 貧しさと欠乏。

G. 伝道の書 10:18 怠惰によって屋根は落ち、無精によって家は漏る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6103 atslah

怠惰が多ければ家は朽ち、手の怠りによって家は漏る。

H. 箴言 19:15 怠りは人を熟睡させる、なまけ者は飢える。

怠惰 → 深い眠り。怠る魂は飢えに苦しむ。

I. 箴言 6:6 なまけ者よ、ありのところへ行き、そのすることを見て、知恵を得よ。(7) ありは、かしらなく、つかさなく、王もないが、(8) 夏のうちに食物をそなえ、刈入れの時に、かてを集める。(9) なまけ者よ、いつまで寝ているのか、いつ目をさまして起きるのか。(10) しばらく眠り、しばらくまどろみ、手をこまぬいて、またしばらく休む。(11) それゆえ、貧しさは盗びとのようにあなたに来り、乏しさは、つわもののようにあなたに来る。

ありのところへ行け → その道を見て、知恵を得よ。

(私の個人的な考え——箴言第24章と箴言第6章は同じ言葉を二度用いている。「しばらく寝、しばらく眠り、手をあわせてしばらく休む」。この言葉が二度与えられているのは、その警告が確かであることを示している。)

J. 箴言 26:13 なまけ者は、「道にししがいる、ちまたにししがいる」という。(14) 戸がちょうつがいによって回るように、なまけ者はその寝床で寝返りをする。(15) なまけ者は手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをいとう。(16) なまけ者は自分の目に、良く答えることのできる七人の者よりも、自らを知恵ありとする。

怠る者は言う、道にししがいると → 彼は自分の考えにおいて、思慮ある七人の者よりも自らを知恵ある者とする。

K. 箴言 12:27 怠る者は自分の獲物を捕えない、しかし勤め働く人は尊い宝を獲る。

勤勉な人の実質 = 貴重。

L. 箴言 13:4 なまけ者の心は、願い求めても、何も得ない、しかし勤め働く者の心は豊かに満たされる。

怠る者は望んでも何も得ない。勤め働く者の魂は豊かにされる。

M. 箴言 21:5 勤勉な人の計画は、ついにその人を豊かにする、すべて怠るものは貧しくなる。

勤勉な人の計画 → 豊かさに至る。気の早い者 → 貧しさに至る。

(私自身の思い——この言葉に注目せよ。勤勉な者の「思い」。勤勉は手にある前に、思いにある。この学びは、心の一新に至って再びこの点に立ち返る。)

N. 箴言 11:27 善を求める者は恵みを得る、悪を求める者には悪が来る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7836 shachar

善を求める → 恵みを得る

III. 神を熱心に求める者に報いてくださる方

A. ヘブル人への手紙 11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自身を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1567 ekzeteo

神は、御自身を熱心に求める者に報いてくださる方である。

B. 使徒行伝 18:24 さて、アレキサンデリヤ生れで、聖書に精通し、しかも、雄弁なアポロというユダヤ人が、エペソにきた。(25) この人は主の道に通じており、また、霊に燃えてイエスのことを詳しく語ったり教えたりしていたが、ただヨハネのバプテスマしか知っていなかった。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2204 zeo

聖書に強い+霊に燃えている→主のことを熱心に教えた。

IV. 主に平安のうちに見出されるために、勤勉であれ

A. ペテロの第二の手紙 3:14 愛する者たちよ。それだから、この日を待っているあなたがたは、しみもなくきずもなく、安らかな心で、神のみまえに出られるように励みなさい。

勤勉であれ⇒平安であり、傷なく、とがなくて、主に見出されるように。

(私の個人的な考え——あなたがこのようなことを求めているのを見て:どのようなことを求めているのか?この節の直前の節に、それが何であるかが示されている。)

B. ペテロの第二の手紙 3:10 しかし、主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。(11) このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、(12) 極力、きよく信心深い行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、天体は焼けうせてしまう。

神の日の来たるを待ち望み、かつ速からんことを慕い求む→汝らはいかなる人となるべきか。

C. ヘブル人への手紙 6:11 わたしたちは、あなたがたがひとり残らず、最後まで望みを持ちつづけるためにも、同じ熱意を示し、(12) 怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3576 nothros

終わりまで同じ勤勉を示す⇒怠らず、約束を受け嗣ぐ者たちに倣う者となる。

D. ヘブル人への手紙 12:15 気をつけて、神の恵みからもれることがないように、また、苦い根がはえ出て、あなたがたを悩まし、それによって多くの人が汚されることのないようにしなさい。

注意深く見よ——だれも神の恵みに至らないことのないように。

E. ペテロの第二の手紙 1:10 兄弟たちよ。それだから、ますます励んで、あなたがたの受けた召しと選びとを、確かなものにしなさい。そうすれば、決してあやまちに陥ることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4710 spoude

あなたがたの召しと選びを確かなものにするために励みなさい——そうすれば、あなたがたは決して失敗しない。

(私自身の思い——もしこれらのことを行うなら、とはどんなことか。それはあなたの信仰に加えるべきものである。そこでこの学びは、最初に加えるべきものへと進む。すなわち、信仰に徳を加えよ。)

V. あなたの信仰に徳を加えなさい

A. ペテロの第二の手紙 1:3 いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1391 doxa ・ ■ G703 arete

主イエスの神聖な力によって、すべてのことがわたしたちに与えられている→ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召された。

B. ペテロの第一の手紙 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G703 arete

選ばれた種族+王なる祭司+聖なる国民+神につける民→彼のほまれを言い表す。

(私の個人的な考え——ここでの「賛美」はアレテー(G703、徳)であり、「徳」と同じ言葉である。神が召し出された者たちは、彼らを闇から驚くべき光に召し出して下さった方の徳を表す。)

C. ピリピ人への手紙 4:8 最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G703 arete

また徳といわれるもの→それらのものを心にとめなさい。

D. ピリピ人への手紙 4:6 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。(7) そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るであろう。

何事も思い煩うな。そうすれば、神の平安があなたがたの心と意思を守る。

VI. 心の一新によって変えられなさい

A. ローマ人への手紙 12:1 兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である。(2) あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G342 anakainosis

この世に調子を合わせてはならない→心の一新によって変えられなさい→神の良い、喜ばれる、完全な御心が何であるかをわきまえ知りなさい。

(私自身の思い―体は与えられているが、人は心の一新によって変えられる。ここで勤勉は内側へと向かう。手の労苦だけでなく、勤勉な者の思いもまた然り。)

B. コリント人への第二の手紙 10:3 わたしたちは、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。(4) わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、(5) 神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、

想像を打ち倒す→すべての思いを捕らえてキリストに服従させる。

C. コリント人への第一の手紙 2:16 「だれが主の思いを知って、彼を教えることができようか」。しかし、わたしたちはキリストの思いを持っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3563 nous

わたしたちはキリストの思いを持っている。

D. ピリピ人への手紙 2:5 キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。(6) キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、(7) かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、(8) おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

キリスト・イエスにあった心を、あなたがたの中にも抱きなさい→彼はご自身を低くして、死に至るまで従順であられた。

(私の個人的な考え―コリント人への書は私たちが「キリストの心」を持っていると言い、ピリピ人への書は「この心をあなたのうちに保ちなさい」と言っている。私たちが持っているものを、私たちのうちに生かさなければならぬ。)

E. ローマ人への手紙 8:6 肉の思いは死であるが、霊の思いは、いのちと平安とである。(7) なぜなら、肉の思いは神に敵するからである。すなわち、それは神の律法に従わず、否、従い得ないのである。(8) また、肉にある者は、神を喜ばせることができない。(9) しかし、神の御霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉におるのではなく、霊におるのである。もし、キリストの霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではない。

肉の思いは死であり、御霊の思いは命と平安である。

F. イザヤ書 26:3 あなたは全き平安をもってころざしの堅固なものを守られる。彼はあなたに信頼しているからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3336 yetser ・ ■ H5564 samak

あなたに心をとどめる者--あなたは全き平安をもってその者を守られる。

G. エペソ人への手紙 4:23 心の深みまで新たにされて、(24) 真の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。

心の霊において新たにされよ → 新しい人を着よ。

H. テモテへの第二の手紙 1:7 というのは、神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊なのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4995 sophronismos

恐れ^の霊ではない → 力 + 愛 + 慎み(健全な思い)の霊。

I. ピリピ人への手紙 4:13 わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。

わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。

J. ペテロの第一の手紙 1:13 それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。

心の腰に帯を締めよ —— 終わりまで望みを抱け。

K. ピリピ人への手紙 4:8 最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。

すべて真実なこと、すべて敬うべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて誉れあること → これらのことを思え。

(これは私個人の思いである —— この学びは、その出発点であったところ、すなわち「あらゆる勤勉を尽くす」ことへと立ち返る。勤勉とは、ただ手の労苦のみではない。それは内側に働き、ついには心が新たにされ、キリストの従順へと捕らえられ、彼に思いを留めて完全な平安のうちに保たれるに至るのである。)

閉会

ペテロの第二の手紙 1:10 兄弟たちよ。それだから、ますます励んで、あなたがたの受けた召しと選びとを、確かなものにしなさい。そうすれば、決してあやまちに陥ることはない。

そうすれば、決してあやまちに陥ることはない。

ペテロの第二の手紙 1:11 こうして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたに豊かに与えられるからである。

あなたがたに永遠の御国に入る門が豊かに与えられる —— 永遠の御国へと。

(私自身の思い — ここに、この学び全体をひと息に記す。それは「あらゆる勤勉を尽くす」ことから始まり、「豊かに与えられる入口」で終わる。その両者の間に、勤勉は怠惰と対比されている。それは神を求めることに、また主の日を待ち望むことに見られる。そしてそれは内へと向きを変える — 信仰に徳を加え、心を新たにし、あらゆる思いをキリストに従わせて捕えるまで — ついにその人は神に思いを留めて全き平安のうちにあり、決して倒れることがない。)

練習クイズ

1. ペテロの後の書 1:5 — それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に加えなさい:

- a) 知識
- 徳
- c) 忍耐

2. 箴言12:24 — 勤め働く者の手は:

- 権威を持つ
- b) 貢を納める者となる
- c) 肥やされる

3. ヘブル人への手紙11:6 — 神は次のような者に報いて下さる:

- a) 神が存在することを信じること
- 神に来る
- 神を求める者

4. ペテロの第二の書 3:14 — それだから、この日を待っているあなたがたは、しみもなくきずもなく、安らかな心で、神のみまえに出られるように励みなさい。

- 平和のうちに、しみもなく、傷もなく
- b) すべての聖なる行いと敬虔において
- c) 大きな音を立てて

5. ローマ人への手紙12章2節 — 何によって造りかえられるべきか:

- a) 神の憐れみ
- b) あなたがたの理にかなった奉仕
- 心を新たにすること

6. ローマ人への手紙8章6節 — 肉の思いは:

- a) 命と平安
- 死
- c) 完全な平和

7. イザヤ書26:3 — あなたは全き平安をもってこころざしの堅固なものを守られる。

- あなたに信頼しているからである。
- b) 早まった
- c) 腰を引き締めて

解答:1-b、2-a、3-c、4-a、5-c、6-b、7-a

このスタディの分岐

→学びがいかに積み重ねられていくか。徳に知識を加え、知識に節制を加える(ペテロ後書1:5-7)。これは連鎖における次の段階であり、はしご全体は勤めをもって与えられる。

これが最終的にどのように成就するか。すなわち、信仰と忍耐をもって約束を受け継ぐ者たちに、勤勉な者は倣うのである(ヘブル人への手紙6:12)。勤勉は信仰と忍耐と共にあり、終わりまでそうあるべきである。

言葉の重要性:CHARUTS(H2742、勤勉な)は「勤勉」を意味する言葉である。それはまた純金を意味する言葉であり、また決断の谷を意味する言葉でもある——勤勉な人は決断した人であり、その財産は貴重である。

これがあなたにどう当てはまるか:心の一新(ローマ12:2)は勤勉の内なる働きである。すべての思いをキリストに従うように捕らえ(コリント後書10:5)、全き平安のうちに保たれなさい(イザヤ26:3)。

永遠のためにこれが意味すること:努めて汝らの召しと選びを確かにせよ。そうすれば汝らは決して躓くことなく、永遠の御国に入る道が豊かに備えられるであろう(2ペテロ1:10-11)。

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).